



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2011年8月号（483号）》

目 次

報 告

・定例司教総会	1
・常任司教委員会	3
・社会司教委員会	4
・学校教育委員会	5
・難民移住移動者委員会	6
・正義と平和協議会	11
・統一協会問題キリスト教連絡会	14
・子どもと女性の権利擁護のためのデスク	15
・HIV/AIDS デスク	16
・中央協議会事務局（出版、総務）	17

定例司教総会

■2011年度定例司教総会

日 時	2011年6月13日（月）14:00—6月17日（金）10:00	
場 所	日本カトリック会館 マレラホール	
出席者	会 員	15人
	来 賓	1人
	招請者	2人
	オブザーバー	4人
	総会事務局	8人

報 告

1. 小冊子「ユスト高山右近の靈性と現代」(仮称)の制作について

2011年2月に開催された2010年度臨時司教総会において、高山右近の靈性を紹介する小冊子の作成が承認された。その際、指摘された諸点に基づき、列聖列福特別委員会が改訂した記述内容が報告された。本司教総会での諸意見を加味して再度修正した文書を小冊子にまとめ、カトリック中央協議会から今秋に発行する予定。

審 議

1. 東日本大震災に対する日本司教協議会としての対応について

東日本大震災に対する日本カトリック司教協議会の対応として、以下の事項を承認した。

- ①「カトリック仙台教区東日本大震災救援・復興活動における全国支援組織図」に基づき、全教区は仙台教区への復興支援を行う。
- ②仙台教区への司祭派遣の調整役としては、3教会管区大司教が日本カトリック管区長協議会会長・副会長の協力を得て、相談窓口となる。
- ③仙台教区およびさいたま教区の中央協議会教区分担金を2011年度より3年間免除する。なお、両教区の花分金免除額は、それ以外の14教区で案分する。
- ④宗教法人「カトリック中央協議会」は2011年度より3年間、毎年3,000万円ずつ、計9,000万円を宗教法人「カトリック仙台教区」へ、毎年1,000万円ずつ、計3,000万円を宗教法人「カトリックさいたま教区」へ寄付する。

2. 「聖母マリアへの祈り」正式訳確定について

- ①本司教総会に提出された、以下の祈りを、「聖母マリアへの祈り」の正式口語訳とし、その表題を「アヴェ・マリアの祈り」とすることを承認する。

アヴェ・マリアの祈り

アヴェ、マリア、恵みに満ちた方、
主はあなたとともにおられます。
あなたは女のうちに祝福され、
ご胎内の御子イエスも祝福されています。
神の母聖マリア、
わたしたち罪びとのために、
今も、死を迎える時も、お祈りください。
アーメン。

- ②改訂に伴う以下の事項を承認する。

- 1) 「アヴェ・マリアの祈り」は2011年6月14日より使用を開始し、徐々に定着をはかっていく。
- 2) 『日々の祈り(改訂版)』(2005年6月15日発行)に掲載されている口語訳『聖母マリアへの祈り』と文語訳「天使祝詞」は、今後公式には使用しない。

3. 待降節・降誕節・復活節の「公式祈願」改訂訳について

本司教総会での諸意見を加味して修正した、待降節・降誕節・復活節の公式祈願の改訂訳を、教皇庁・典礼秘跡省に提出することを承認した。

4. 福者ヨハネ・パウロ二世教皇の記念日(10月22日)を日本の暦に加えることについて

福者ヨハネ・パウロ二世教皇の記念日(10月22日)を日本の暦に加えることを教皇庁・典礼秘跡省に申請することを承認した。

5. 列聖列福特別委員会委員長確定について

2011年度定例司教総会最終日から2013年度定例司教総会最終日までの列聖列福特別委員会委員長に大塚喜直司教を選任した。

6. 新司教の司教協議会での役職確定について

新司教の日本カトリック司教協議会での役職を以下のとおり確定した。

①社会司教委員会からの任命

子どもと女性の権利擁護のためのデスク担当司教：諏訪榮治郎

*任期は2011年9月1日から、2013年度定例司教総会最終日まで。

*松浦悟郎司教は、2011年8月31日をもって、同デスク担当司教を退任。

②青少年司牧部門担当司教：浜口末男

*任期は司教叙階後より、2013年度定例司教総会最終日まで。

*郡山健次郎司教は同部門の責任司教を継続。

③『司牧の手引き』編纂特別委員会委員長：前田万葉

*任期は司教叙階後より、委員会任務終了時まで。

*現委員長の押川壽夫司教は、同特別委員会委員長を退任。

7. 第13回シノドスのLINEAMENTAについて

①第13回シノドスのLINEAMENTAに対する司教協議会としての回答書作成のための意見聴取の対象は、基本的に全司教と男女修道会・宣教会総長管区長とすることを承認した。

②第13回シノドスのLINEAMENTAに対する司教協議会としての回答書案の作成については、8月末日までに各教区と修道会管区長から提出される諸意見にもとづき、シノドス代表参加者の宮原良治司教が作成することを承認した。

③教皇庁に提出する正式回答書については、2011年10月7日に特別臨時司教総会を開催して上記回答案をもとに審議を行い、同総会で出された諸意見をふまえて代表参加者の宮原良治司教が作成することを承認した。

8. 2012年度からの教区分担金の算出方法について

2012年度から2014年度の教区分担金算出方法については、従来の基準（信徒数×100円）を適用することを承認した。

9. 2010年度(宗)カトリック中央協議会収支決算書案承認について

2010年度(宗)カトリック中央協議会収支決算書案を、2010年度(宗)カトリック中央協議会収支決算書として承認した。

常任司教委員会

■6月定例常任司教委員会

日 時 2011年6月2日(木) 10:00-15:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 委 員 7人

事務局 8人

報 告

1. 東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について

東日本大震災にあたっての、現在までの募金状況と活動状況について、カリタスジャパン・菊地功司教から報告が行われた。5月27日時点の募金総額は、482百万円となった。

2. ヨハネ・パウロ二世列福感謝ミサ終了とサラ枢機卿訪日終了について

【ヨハネ・パウロ二世列福感謝ミサ】

2011年5月14日（土）午後3時から、東京大司教区カテドラル関口教会において開催された、日本カトリック司教協議会主催による教皇ヨハネ・パウロ二世列福感謝ミサについて報告が行われた。東日本大震災被災地視察のために来日した教皇庁・開発援助促進評議会議長ロベール・サラ枢機卿と駐日教皇大使の挨拶は中央協議会ホームページに掲載している。なお、同ミサに合わせて行った、東日本大震災被災者救援のための献金は、480,363円集まった。全額カリタスジャパンの被災者救援募金に送金する。

【ロベール・サラ枢機卿訪日】

5月13日（金）から17日（火）まで東日本大震災被災地視察のために来日した、教皇庁・開発援助促進評議会議長ロベール・サラ枢機卿の被災地訪問行程が報告された。

議 題

1. 2011年度定例司教総会内容確定について
本年6月13日－17日に開催する定例司教総会の審議内容を確定した。（詳細は定例司教総会報告参照）
2. 2011年度「司教の集い」の内容について
2011年度定例司教総会中に開催する「司教の集い」のプログラム内容を承認した。日本の教会の方向性を確認し、福音宣教の今後について検討するための、各教区報告を受けた分かち合いを行う。
3. 東日本大震災に対する日本カトリック司教協議会としての対応について
東日本大震災に対する日本カトリック司教協議会としての財政援助について常任司教委員会から司教総会に諮る提案を確定した。
4. 『日々の祈り』と『ロザリオの祈り』改訂箇所について
 - ①『日々の祈り』に掲載する「十字架のしるし」の説明文として提案された文章に本常任司教委員会で
の意見を加味して修正し、『日々の祈り』改訂版に掲載する。
 - ②『日々の祈り』の「十字架の道行」132ページの冒頭に、（信徒が先唱する場合）を加える。
 - ③『ロザリオの祈り』25ページのタイトル「聖母マリアへの祈り」と天使祝詞の掲載の可否については、
総会の決定を待って対応する。
5. 2012年度からの教区分担金算出方法について
2012年度から2014年度の教区分担金については、従来の基準（信徒数×100円）を適用することを常任
司教委員会として承認し、2011年度定例司教総会に諮る。
6. 2010年度（宗）カトリック中央協議会収支決算書案について
財務委員会から提出された2010年度カトリック中央協議会収支決算書案を、2011年度定例司教総会へ
常任司教委員会から提出する正式な同収支決算書案とすることを承認した。
7. 節電対策としての中央協議会一斉夏期休暇について
消費電力が増加する夏の期間の節電対策として、2011年度に限り、8月1日（月）を特別有給休暇とし、
日本カトリック会館を一斉休館とすることを承認した。
8. 中央協議会発行出版物の企画承認について
出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと、出版企画書を承認した。
書籍名 2012年から実施される改定入管法問題
著 者 佐藤信行
企画内容 2011年度 難民移住移動者委員会公開講演録

社会司教委員会

■社会司教秘書合同会議

日 時 2011年6月1日（水）10:00－12:30

場 所 日本カトリック会館 会議室 2

出席者 13 人

報 告

1. 「教会と社会の関わりについて」(仮題)の編集状況について
2. 2010 年度緊急活動支援資金運用報告
3. 米国サバラ司教 8 月広島・長崎招待キャンセルについて
4. 2010 年度決算報告(案)

審 議

1. 平和旬間会長談話について
平和旬間会長談話のたたき台の内容を検討し、細部を修正し、おおむね了承された。
2. 司教のための社会問題研修会について
12 月に予定している研修会の内容について検討した。
テーマは「原発について」。二日間にわたって講師による説明と質疑応答の時間を持つ。
講師は未定。

学校教育委員会

■第 126 回 学校教育委員会

日 時 2011 年 5 月 30 日(月) 16:00-18:30

場 所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院(東京・千代田区)

出席者 9 人

報 告

1. 第 24 回「校長・理事長・総長管区長の集い」について

日 時 2011 年 4 月 28 日(木)-29 日(金・祝)

場 所 東京ガーデンパレス(東京・文京区)

テーマ 教会におけるカトリック学校の意義

参加者 185 人(司教 4 人を含む)

初日はテーマについて 5 人のパネリスト(梅村昌弘、菊地 功両司教を含む)が発題、パネルディスカッションに続いて参加者との質疑応答を行った。

2 日目午前は、前日の内容を踏まえて 9 グループに分かれて話し合った。午後はグループごとに発表を行い、ミサで「集い」を終了した。

2. 事務局からは、以下について報告があった。
 - ①「学校教育委員会 2010 年度決算報告」
 - ②「第 24 回校長・理事長・総長管区長の集い」会計収支
 - ③冊子『キリスト教理解のために』贈呈発送について
3. 品田委員より、「カトリック学校連合会の動き」について報告があった。

審 議

1. ①「第 24 回 校長・理事長・総長管区長の集い(集い)」の振り返り
*今回の「集い」で提起された課題を、次回につなげる。
*教会とカトリック学校の関係について、さらに掘り下げて考えていく必要がある。

*司教方とは、「寄附行為」などの根本的な部分で話し合うことが不可欠。

②「集い」参加受け入れについて

・案内状送付対象者以外から参加（見学）の申し出があった場合、委員会で検討する。

③ 2012年度「第25回集い」について

・「第24回集い」の振り返りを参考に、各委員が次回会議までにテーマ案を考える。

・次年度の「集い」は、2012年4月27日（金）-28日（土）の1泊2日とし、東京以外での開催も検討する。

2. 後援の依頼について

各団体から本委員会に「後援」の依頼があった場合には、そのつど委員会に諮って決定する。

次回会議 2011年7月25日（月）15:00-17:00 日本カトリック会館

難民移住移動者委員会

■公開講演会「宣教課題としての入管法問題 2012年から実施される『外国人いじめ法』の検証」

日時 2011年5月30日（月）18:00-20:00

場所 幼きイエス会 ニコラ・バレ修道院（東京・千代田区）

参加者 約50人

出席者 11人

在日韓国人問題研究所(RAIK)所長の佐藤信行さんを講師に、公開講演会が開催された。

2009年7月に改訂された入管特例法・住民基本台帳法による新しい制度が、2012年7月に実施される予定である。この新しい制度は、在日外国人の人権保護よりも、管理の強化を目的としているように思われる。佐藤さんは、新制度について「『入管法』解説Q&A」を用いながら分かりやすく解説し、新制度の問題点や留意点を明らかにした。1時間半の講演の後、活発な質疑応答がなされ、直接にかかわる外国人に情報が行き渡っていないという指摘もあり、新制度実施の来年に向けて多くの課題が山積していることが明らかにされた。

■2011年度第1回 定例委員会議

日時 2011年5月31日（火）9:00-16:00

場所 日本カトリック会館 マレラホール

出席者 14人

欠席者 2人

報告

1. 2010年度 活動報告

2010年度の活動報告として、事務局会議、定例委員会、全国担当者会議、委員会主催研修会、管区別セミナー、海外会議参加、外部シンポジウム・セミナー参加について報告を行った。

2. 各部門からの報告

・収容所問題(齋藤助祭より)

東日本大震災時の衝撃が被収容者に大きく影響している。2カ月経った今も食事の質などの影響も残っている。余震の恐怖などメンタルケアの必要性が高い。カウンセラーとの言葉の壁の問題もある。仮放免申請の審査期間がまた長くなっている傾向にある。牛久面会ネットワークでは、所長面談を年

2回実施しており、徐々にではあるが、医療問題の改善を行ってきた。

・スペイン語圏司牧担当(ゴンザレス修道女より)

昨年6月にマレラホールでAPALA(アパラ:ラテンアメリカ人司牧者会)を開催し、40名が参加した。全国で何かをしようという動きではなく、光を得てどのようにするかを考える集まりだった。リーダー不足に悩んでおり、スペイン語圏司牧専門の人がいないため十分応えられない感じがする。日本の教会では、南米人の積極性が東洋人に受け入れられない現実や移住労働者として人権が守られていないなど問題がある。東日本大震災時の海外でのマスコミの大きな報道が原因で、不本意ながら帰国した人々も多いという情報がある。新しい動きとしては、「Facebook」での繋がりが広がっている。

・ブラジル人司牧担当(川邨師より)

東日本大震災後、組織的でなく個人やグループで浜松などを中心とした支援活動が始まっているようだが、茨城県など被災地近くのブラジル人はほとんど帰国したとの情報もある。西日本入国管理センター(大阪・茨木市)での複数の収容者の情報によると、収容者が食べたい物や買物などを控えて、義援金を集めているようで、これらの活動を通して収容者間の団結が保たれている。

・日本女子修道会総長管区長会(米田修道女より)

6月の男女修道会宣教会合同役員会での承認後になるが、「修道会・宣教会多文化共生緊急支援基金」に関する規定が出来上がる予定。緊急支援に対応できるような小回りが利く、未長い支援のための基金にしていく方向で考えている。

東日本大震災後、仙台に“シスターズ・リレー”(日本女子修道会総長管区長会の協力により、サポートセンターに交代で修道女が派遣され、ボランティア活動を行っている)で、常時4人の修道女を4カ所のベースに派遣している。

3. 東京管区の報告及び2011年度東京教会管区セミナー進捗状況について(フーベルト師より)

東日本大震災で被災した人へ避難場所の提供を考えて、カトリック妙高教会(新潟教区)を準備していた。外国籍住民は、ほとんど帰国したという情報を聞いている。

東京教会管区セミナーは、7月2日(土)に幼きイエス会ニコラ・バレ修道院でカトリック東京国際センターCTIC主催の研修会に委員会が共催する形で準備してきたが、CTICが被災者支援活動などに忙しくなり、この研修会が中止となったため、再度検討が必要である。

4. 2010年度大阪教会管区セミナー報告について(柳本師より)

3月20日(日)、カトリック桜町教会(高松教区)で大阪教会管区セミナーが開催された。テーマは「多様性の一致 一みんなて交わろう!」で、申込時は約100人、プログラム最後の溝部 脩司教によるミサでは200人の参加があった。

5. 長崎管区の報告及び長崎教会管区セミナー進捗状況について(川口 敏師より)

オタワ愛徳修道女会をベースにして、仙台サポートセンターなどを訪問した。

2010年度長崎教会管区セミナーは、11月23日(火)、長崎カトリックセンターで開催され、約250人が参加した。今年度のセミナー開催地として北九州が候補地にあげられていたが、諸事情により、2012年2月11日(土)に熊本マリスト学園で開催することになった。カトリック健軍教会(福岡教区)に協力をお願いする。

6. 2011年度「全国研修会 in 岡山」進捗状況について(柳本師より)

2012年2月8日(水)～9日(木)に岡山教会で開催する。中島幸子さん(NPO法人レジリエンス代表)のDV(ドメスティックバイオレンス)についての講演を予定している。

7. 「船員の日」(7月10日)およびAOS(船員司牧)研修会進捗状況について

8. AOS全国会議 in 大阪について(金さんが欠席のため、報告書のみ)

AOS全国会議は、10月13日(木)～14日(金)、大阪で開催することが決定した。また、今年度のAOS研修会は、7月9日(土)神戸港、7月18日(月)横浜港、9月10日(土)四日市港、日程は未定だが東京港で開催する。

9. 「世界難民移住移動者の日」(9月25日)ポスター作成進捗状況について

今年度のキャッチコピーは「さしだされる手 にぎりかえす手 だれとでも」に決定した。事務局で手

をつないだイラストを探し、ポスター作成の準備を進めている。本日の事務局会議で第1案を選考する。ポスターや教皇・委員長メッセージの発送は、8月下旬をめどに行う。

10. その他

①東日本大震災被災地について

・野上修道女より

原発事故のニュースが流れてから、フィリピン領事館がバスで福島に住むフィリピン人を一斉に移動させ、東京に一時避難させた後、帰国を促した件について、家族が別れ別れになり、泣く泣く帰国した人も多かったと聞く。帰国した人が戻って来る見通しなどはあるか。避難先として修道院などの提供が数十件あったはずだが、実際に避難した家族はなかった。

・石川修道女より

5月21日(土)に、霊的サポートを目的として、バスで宮城県石巻市に行くという集団に同行した。メンバーはフィリピン領事館と日本人と結婚しているフィリピン人共同体の約45人。祈りの本やロザリオ、メダイなどを持参し、現地で被災者個人と面会し傾聴を行った。また、フィリピン領事館が被災で失った書類などの迅速な交付手続きや相談業務を行った。

・川口 薫師より

東京教区の「東日本大震災外国人被災者支援センター」では、タガログ語ミサとカウンセリングセミナーを実施している。5月22日(日)はカトリック大船渡教会(仙台教区)で行われた。6月には、宮城県丸森町で実施の予定。現在は、個別の依頼に応える形で実施している。

・ゴンザレス修道女より

スペイン語圏の人々で組織したグループが6月10日頃からボランティアとして被災地に出かけているらしい。カトリックの信徒であるか否かは聞かないと聞いている。

②多国籍の人々の民間信心について

今後、この信心を日本の教会の中でどう生かすかを考えたい。

審 議

1. 2010年度決算承認

2010年度の決算について報告があり、全員一致で承認された。

2. 難民移住移動者委員会の東日本大震災被災者に対する支援について

細渕修道女からブラジル人学校インスチット・エドゥカレ(茨城・つくば市)の訪問についてと、松浦司教の代理として調査をした田 恩伊さんの東北朝鮮学校(宮城・仙台市)の報告書とスライドから、外国人学校の震災被害情報を知ることができた。孤立しがちな外国人学校に対して、「忘れてはいない」というメッセージを発信・交流し、支援を考えていく。現在、当委員会が行う東日本大震災で被災した外国人の人々への支援活動は具体的ではないが、長い支援を検討することになると思われる。

■2011年度 第2回事務局会議

日 時 2011年5月31日(火) 16:30-18:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 4人

欠席者 1人

審 議

1. 外国人学校訪問について

「第1回定例委員会」で報告された東日本大震災で被害を受けた外国人学校に対し、具体的支援を検討する上で、7月12日(火)にブラジル人学校インスチット・エドゥカレ(茨城・つくば市)を訪ね、見学と交流を行う。

2. 臨時全国担当者会議開催について

「第1回定例委員会」での報告を受け、東日本大震災で被災した外国人への支援活動について、定例委員・言語別司牧担当者・教区担当者で情報交換を行い、今後の委員会の支援活動をどのように行っていくか検討するために、7月13日(水)、日本カトリック会館マレラホールで臨時全国担当者会議を開催する。

3. 「世界難民移住移動者の日」ポスター案について

現在、作成した6案から構成などを確認し、1案を選択。修正を加えて、6月13日(月)の「第3回事務局会議」において再検討作業を行う。

■2011年度 第3回事務局会議

日 時 2011年6月13日(月) 10:30-13:00

場 所 日本カトリック会館 会議室6

出席者 5人

報 告

1. 「船員の日」(7月10日)ポスター、AOS ニュース、メッセージ発送について

6月15日(水)をめどに、全国の小教区、修道院、関係者あてに発送を完了する。

2. 「難民・移住労働者問題キリスト教連絡会(難キ連)第2回運営会議」(5月16日)について

7月1日(金)14時から2011年度世話人会が開催される。松浦司教が参加の予定。

7月9日(土)、チャリティーコンサートがJELAハウス(日本福音ルーテル社団 東京・渋谷区)で開催される。

3. その他

「AOS 船員司牧特別基金」(AOS special Fund for the victims of Tsunami in Japan)の会計処理について、事務局より報告があった。

審 議

1. 「世界難民移住移動者の日」(9月25日)ポスターデザインについて

「第2回事務局会議」で検討した6案より選択した案について、色や文字フォントなどについて検討し、7月1日(金)の「第4回事務局会議」で検討作業を行う。

2. 東日本大震災被災外国人への支援活動について

長期的な外国人被災者の司牧などを考えていくために、7月13日(水)に開催予定の「臨時全国担当者会議」の議事について検討した。

3. ブラジル人学校訪問(7月12日)について

定例委員や教区担当者あてに案内を送付しており、現在は参加希望者の反応を待っている。

4. 東北朝鮮学校支援について

今後、具体的に支援の実現を考えたい。

■FRJ(なんみんフォーラム)2011年度総会 第1回会議

日 時 2011年6月13日(月) 14:00-17:30

場 所 JELAハウス(東京・渋谷区)

出席者 カトリックから1人

2011年度総会

議 事

1. 議長、記録担当、議事録署名人の選出
2. 2010年度活動報告、決算報告
3. 活動報告、決算報告の承認
4. 運営委員報告
5. 2011年度活動予定、予算報告

第1回会議

報告

1. デンタルプロジェクトよりの報告
2. 収容所代替措置—世界円卓会議参加報告

審議

1. 世界難民の日 2011 記念イベントについて
FRJ 主催、UNHCR の共催で 2011 年 6 月 20 日（月）、国連大学エリザベスローズホールで開催予定。
役割分担を決定。
2. シェルターに関する情報の共有

■第8回 移住労働者と連帯する全国フォーラム・東海 2011

日時 2011年6月18日（土）13:00—19日（日）12:30
場所 中京大学名古屋キャンパス（愛知・名古屋市）
主催 移住労働者と連帯する全国ネットワーク（移住連）
参加者 約500人
出席者 3人

「多民族・多文化共生の道を地域から創り出そう」というテーマのもとで開催された。リーマンショック以後の現状とこれからのあるべき姿を、移住者当事者と労働、教育、福祉の現場からの支援者、さらに地域行政という多様な視点から、報告、議論を行い、地域からの「多文化共生」の道を模索した。

1日目は、シンポジウム「リーマンショック以後の東海地域から多文化共生の道を考える」で始まり、その後、女性、労働、新たな在留管理制度、日系人、難民、自治体と政策など16の分科会に分かれて討論を進めた。2日目には、「国・自治体・市民が今やれること—多民族・多文化共生の道を創り出すために—」と題して田中宏さん（一橋大学名誉教授）の記念講演があった。田中さんは人口減少期を迎えた今、外国人の存在抜きには成立しえなくなった日本で、外国人との共存・共生を築く道と呼びかけた。その後、移住連、全統一労働組合などが呼びかけて結成された「名無しの震災救援団」による東日本大震災被災地・南三陸町での支援活動のビデオ上映と報告があった。1日目、2日目を通しての意見交換の時間も持たれ、最後に「第8回移住労働者と連帯する全国フォーラム・東海 2011 提言」を採択して閉会した。

■世界難民の日 2011 シンポジウム 「日本難民保護の30年—これまでの道のりと今後の展望」

日時 2011年6月20日（月）13:00—16:30
場所 国連大学 エリザベスローズホール（東京・渋谷区）
主催 NPO 法人 なんみんフォーラム（FRJ）
共催 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）
参加者 約150人
出席者 2人

1951年に「難民の地位に関する条約」が国連で締結されてから60年、日本が1981年に難民条約に加盟してから30年にあたる今年の世界難民の日（2011年6月20日）に開催、政府・自治体関係者、学者、法律家、市民社会の代表また難民当事者が集まり、日本における難民保護制度の現状を省察、今後の展望について意見交換を行った。

法務大臣政務官の黒岩宇洋さんとUNHCR駐日代表ヨハン・セルスさんの基調講演に続き、難民による東日本大震災被災地におけるボランティア活動の報告があった。その後、「日本における難民保護手続きに関する包括的考察と将来展望」についての2つのパネルディスカッションがあった。第1のテーマは、「関連法と手続き―難民認定手続きと改正入管法（2004年の現状）」で、難民受け入れの法的枠組みについて討論された。第2は「支援と社会統合―第三国定住者・条約難民・人道的配慮による在留特別許可者への支援の枠組み、関係者および支援団体の協力と社会の役割」で、難民当事者、行政、支援団体それぞれの立場から活発な意見交換が行われ、質疑応答の後、散会した。

正義と平和協議会

■定例会議

日 時 2011年6月6日（月）14:00―7日（火）12:30

場 所 日本カトリック会館 マレラホール

出席者 16人

欠席者 4人

学習会

6月6日（月）14時より、原田裕史さん（たんぼぼ舎）を講師に、福島原子力発電所事故と今後のエネルギー政策の学習会を行った。

報 告

1. 2010年度決算報告
2. 基地のない沖縄をめざす宗教者の集い結成集会（6月17日、衆議院第一議員会館大会議室・千代田区）準備の進捗状況について。
3. 会報のホームページ掲載に伴う、会議出席者の個人名表記について
4. 各地・部会・委員会からの報告
 - ・仙台教区 復興状況について。福島県からの避難者のミサの場所などについて。
 - ・東京教区 静岡地裁に袴田事件無罪再審要求の署名を提出した。
 - ・清水靖子修道女（ベリス・メルセス宣教修道女会・リーフレット作成チーム）が世界キリスト者会議（5月18-22日、ジャマイカ・キングストン）に出席、世界に脱原発を訴えた。

審 議

1. NCC 靖国委員会委員の推薦
木邨健三専門委員のNCC 靖国委員会委員引退にあたり、新委員の推薦を行った。
2. 原水爆禁止日本国民会議全国アクションの賛同依頼について
広報の協力はするが、賛同団体としては名を連ねない。
3. 原発問題リーフレット英語版の作成
4. 黙想会
2011年度は黙想会を行わない。
5. 部会の来年度活動計画

各部会に来年度の活動計画および予算案の提出を求め、9月定例会議で審議決定する。

■事務局会議

日 時 2011年6月7日(火) 12:45-13:30
場 所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 6人
欠席者 1人

審 議

1. 基地のない沖縄をめざす宗教者の集い結成集会(6月17日、衆議院第一議員会館大会議室・千代田区)
当日の進行について
2. 2012年の活動予算について
賛同金、分担金は例年どおり支出する。

■スタディツアー「部落に生きる 部落と出会う」

日 時 2011年5月21日(土) 10:00-22日(日) 16:00
場 所 さつき会館(東京・荒川区)、カトリック浅草教会(東京教区)
参加者 23人
主 催 東京教区正義と平和委員会
共 催 日本カトリック正義と平和協議会

内 容

初日は高岩昌興さん(部落解放同盟荒川支部長)から「荒川部落の沿革」の説明を受け、皮革工場を見学した。その後、南千住、山谷、浅草の弾左衛門屋敷の後を巡り、カトリック潮見教会で交流会を行った。2日目は、カトリック浅草教会で派遣ミサを行った。

■スタディツアー「アガペの家訪問と学び」

日 時 2011年6月4日(土) 8:30-18:00
場 所 アガペの家(三重・伊賀市)
参加者 25人
主 催 カトリック正義と平和京都協議会
共 催 日本カトリック正義と平和協議会

内 容

「アガペの家」では様々な事情で家を失った人、病気に苦しむ人たちが16人が共同生活を送っている。創立者の天野勢津子さんの話を聞いた。「アガペの家」の有機農法による野菜は、釜ヶ崎での炊き出し、東日本大震災被災者への援助物資として、無償で提供している。農作業の体験学習の後、ミサ、昼食を囲んで入居者、ボランティアとの交流を行った。

■スタディツアー「松代大本営を訪ねて」

日 時 2011年6月11日(土) 13:30-12日(日) 12:30
場 所 松代大本営跡(長野・長野市)、カトリック長野教会(横浜教区)

参加者 15人
主催 カトリック横浜教区正義と平和協議会
共催 日本カトリック正義と平和協議会

内 容

第二次世界大戦末期、日本軍が朝鮮人強制労働者を使って築いた松代地下壕群を見学した。地下壕は日本軍大本営、天皇御座所として使われる予定だった。案内は、地下壕跡を発見、その後も引き続き調査を続けている長野俊英高校・郷土班の生徒たちと、顧問の土屋光男先生によって行われた。2日目はカトリック長野教会の主日のミサにあずかった。

■20条の部会

日 時 2011年6月6日(月) 10:30-12:00
場 所 日本カトリック会館 会議室5
出席者 5人

報 告

1. 「シンポジウム 信教の自由と政教分離」報告

日 時 2011年5月21日(土) 13:30-16:45

場 所 カトリック小倉教会(福岡教区)

シンポジスト 溝部 脩(前・高松教区司教)、森上洋介(日本イエス・キリスト教団小倉教会牧師)、
谷 大二(日本カトリック正義と平和協議会会長)

参加者 約200人

溝部司教は「国是と信教の自由」、森上牧師は「神様を無視するこの世の権威」、谷司教は「憲法20条入門」をテーマに発題を行った。今回のシンポジウムの内容は、昨年開かれた北仙台のシンポジウムと合わせて冊子にまとめる予定。

2. 各地の政教分離に関する訴訟の状況について

審 議

1. 今後の活動について
2. ニュースレターについて

■NCC 靖国神社問題委員会

日 時 2011年6月6日(月) 18:00-20:00
場 所 日本キリスト教会館 バプテスト同盟会議室(東京・新宿区)
出席者 カトリックから1人

審 議

1. 石原都知事靖国神社参拝反対8月集会について
2. 声明文、要請文文案を検討
3. 学習会「Xデー・即位礼・大嘗祭に向けて」

■NCC 平和・核問題委員会

日 時 2011年6月9日(木) 10:00-12:00
場 所 日本キリスト教会館 会議室(東京・新宿区)
出席者 カトリックから1人

審 議

1. 脱原発フォーラム開催について
2. チェルノブイリツアーについて
3. 今後の委員会の体制について

■NCC女性委員会

日 時 2011年6月15日(水) 10:30-13:00
場 所 聖公会センター(東京・新宿区)
出席者 カトリックから1人

報 告

東日本大震災関連で、女性の視点からのプロジェクトおよび活動の報告があった。

審 議

1. 「戦争と女性の人権博物館」への啓発活動、募金呼びかけについて
2. 第10回日本軍「慰安婦」問題解決のためのアジア連帯会議(2011年8月12日-15日、韓国ソウルで開催)に女性委員会から3人の代表の派遣を決定した。

■平和を実現するキリスト者ネット

日 時 2011年6月10日(金) 10:00-12:00
場 所 日本キリスト教会館 会議室(東京・新宿区)
出席者 カトリックから1人

報 告

1. 会計、賛同状況
2. 集会・行動の報告

第89回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者国会要請行動(平和をつくりだす宗教者ネットより)
2011年5月19日(木) 12:00-衆議院第2議員会館第6会議室で集会

12:30-首相官邸前

署名提出 350筆 総数 84,665筆

審 議

1. 第90回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者国会要請行動(6月21日)の要請メンバーについて
2. ニュースレター119号(9月号)について

統一協会問題キリスト教連絡会

■統一協会問題キリスト教連絡会 日韓シンポジウム

日 時 2011年6月22日(水) - 24日(金)
場 所 韓国 イエス長老派教会 (忠清南道・大田広域市)
出席者 カトリックから1人

日 程

- 22日(水) 金浦空港から「現代宗教」出版社へ行き、カルト宗教の問題について話を聞く。発行した雑誌の記事について裁判を起こされているとのことだった。
- 23日(木) シンポジウムでは、韓国と日本、双方からの異端問題、カルト問題についての具体的事例による問題提起があった。日韓のカルト問題にかかわる弁護士4人の対談があり、両者の連携について話が進んだ。日韓双方からカルトとして問題になっているグループの照合を行い、連携していくことが約束された。
- 24日(金) 大田からソウルにもどる途中で、幾つかのカルト宗教の施設見学をした。いずれも立派な建物で、週日でも研修を行っていてたくさんの方が参加していた。

子どもと女性の権利擁護のためのデスク

■定例会議

日 時 2011年6月25日(土) 10:00-13:00
場 所 日本カトリック会館 会議室3
出席者 6人

報告

1. 担当司教が松浦悟郎司教から諏訪榮治郎司教に交代した。交代時期は9月1日以降。引き継ぎのため、当分の間、松浦司教も会議に参加する予定。
2. NPO法人レジリエンスとエセナ5共催によるシンポジウム「つながる 話す とともに歩む—性暴力をなくすためにひとり一人ができること」が7月2日の土曜日、一橋記念堂(東京)で開催される。性暴力被害者三人がそれぞれの体験を語るという企画。

審議

1. 「児童への性的虐待への対応ガイドライン」の見直しについて
教皇庁教理省は司教協議会に対して、『聖職者による未成年者への性的虐待に対応するための司教協議会ガイドライン』を作成して2012年5月までに教理省に提出するよう指示した。
6月常任司教委員会において、「子どもと女性の権利擁護のためのデスク」が対応するようにとの指示が出された。デスクでは、教理省が発表した同文書を参考に、「教会が子どもを守るために『聖職者による児童性的虐待への対応』司教のためのガイドライン」(2003年2月定例司教総会認可)を見直すことになった。今回は教理省の書簡を読み合わせ、意見交換を行った。
2. 今後の計画
 - ①子どもへの性的虐待問題について啓発を行う。
 - ②教会外のネットワークをつくり、連携する。
 - ③情報を収集する。
 - ④2012年に、教区担当者および司教に向けたガイドラインの説明会を企画する。

HIV/AIDS デスク

■第2回 HIV/AIDS デスク

日 時 2011年6月1日(水) 13:30-15:30
場 所 日本カトリック会館 会議室3
出席者 9人

報 告

1. 勉強会(6月17日)の準備状況

新聞各社(「カトリック新聞」「キリスト新聞」「クリスチャン新聞」)に掲載を依頼した。

「校長・理事長・総長管区長の集い」やカトリック中・高校の宗教部会でも案内を行い、東京教区と横浜教区の司祭の月修でも資料を配布した。

2. 世界エイズ孤児デーキャンペーン写真展について

5月15日発行の「カトリック新聞」告知版に掲載された。

3. 委員の予定

委員が自分の所属する団体から8月-9月、中央アフリカ共和国の視察、韓国・釜山の世界エイズ会議への出席、ケニアの医療キャンプに参加する。

審 議

1. 勉強会(6月17日)の詳細について

プログラム

17:30 はじめの挨拶(宮本秘書)

17:40 ①西山綾子医師(小児科)の話

子宮頸がんワクチンの話など基礎的知識、小児科現場の話、10代の妊娠の結果、児童虐待などについて

18:00 ②吉野一枝医師(産婦人科)の講演

18:50 質疑応答

19:00 休憩

19:10 分かち合い3~4組

19:40 各グループ3分の発表

19:50 まとめ

20:00 終了

準備関係

会場には沖縄カトリック学校生徒の書を展示するほか、AIDS文化フォーラム in 横浜のチラシを置く。

委員は16:30に集合。この日の決定事項は吉野医師に連絡する。その他、アンケートの準備を進める。

2. AIDS文化フォーラム in 横浜(8月5日-7日)について

展示会場の申し込みは事務局で行う。「宗教とエイズ」のパネリストは宮本秘書。

3. 出前講演会 in 新潟(10月14日-15日)について

菊地司教がバンコクでの会議が入ったため、日程を変更(未定)。

4. 世界AIDSデー(12月1日)の企画について

今年は東北の震災に人々の意識が集中しているから、デスクからの発行物は簡素にして、継続する。A4サイズの2色刷りのポスター(昨年第2案のポスターを手直し)とミニカード(表面の内容は昨年と同じ、裏面の情報は委員の意見を取り入れて更新する)。

デザイナーと連絡を取る。発行部数は事務局で検討する。

中央協議会事務局

■総務

8月会議予定

3日(水) - 5日(金)	『ミサ典礼書』改訂委員会	厳律シトー会那須の聖母修道院(栃木)
11日(木)	カリタスジャパン援助部会	日本カトリック会館
19日(金)	会計月次チェック	〃
24日(水)	「公式祈願」研究小委員会	日本カトリック神学院(東京キャンパス)
26日(金)	日本盲人社会福祉施設協議会点字出版部会中間部会	日本カトリック会館
31日(水)	HIV/AIDS デスク会議	〃

カトリック中央協議会 「会報」 2011年8月号 (通巻483号)

発行日 2011年7月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457